

Q. 当社の配当性向に関する考え方について

A. 非常に重要な検討事項と考えています。

IT のサービス化など、将来の成長に向けた投資に必要な資金の状況や経営状態などを総合的に勘案しつつ、みなさまの期待に少しでも添えるよう前向きに検討していきます。

Q. 株式の流動性（親会社の出資比率）について

A. 課題として強く認識しています。

企業価値向上のために必要な取り組みを、当社からもしっかりと提案をしていきたいと考えています。また、株式市場における存在感を出せるよう、IR・PR にもしっかりと取り組んでいきます。

Q. 株価対策と利益剰余金の使途について

A. 事業拡大と利益の安定性がポイントです。

株価対策としては、事業拡大、安定的な利益の確保という当社の方針を投資家のみなさまにご理解いただけるよう積極的な IR 活動を継続していきます。利益剰余金については、この方針に基づき、変化の激しい IT 業界において戦っていくための M&A 等の資金として活用する方針です。

Q. ROE の低下と機関投資家（外国法人）の動向について

A. 経営のなかでしっかりと対応していきます。

当期は、税金費用の増加から当期純利益が減少したことにより、ROE が低下しました。外国法人に対してはミーティング等を積極的に行った結果、当期末の保有比率が増えております。今後も、経営に取り組むなかで、しっかりと指標も確認しながら対応していきたいと考えています。

Q. 役員の増員について

A. 責務を果たし、結果を残します。

当社としては、企業ミッションを達成するために必要なポジションに必要な人材を配置したいと考えています。取締役としての責務を果たしつつ、成果についてもしっかりと求めていきます。

Q. 従業員数について

A. それぞれが重要な業務を担っています。

連結従業員数は、3 月末時点で前年比 1 名増加し、687 名となりました。また、4 月には新入社員が入社しています。このほかにも、派遣会社からの受け入れや、共同でビジネスを進めるビジネスパートナーがいます。

Q. 役員退職慰労金について

A. 役員退職慰労金は第 9 回の株主総会で廃止を決議しています。

Q. 招集通知における正社員以外の人員の掲載について

A. 貴重なご意見として承ります。